

# 電磁波について

## 電磁波とは

電磁波とは、電気と磁気の両方の性質を持つ「波」を指します。電気の影響が及ぶ範囲を「電場」といい、磁気の影響が及ぶ範囲を「磁場」といいます。この電場と磁場が相互して影響しあうことで『電磁波』が作られます。電気が流れたり、電波の飛び交うところには、必ず何らかの電磁波が存在しています。



## 着実に増えつつある…『電磁波過敏症』

電磁波過敏症とは、電磁波を浴びることで体が敏感に反応する症状のことです。日本ではまだ認知がされていませんが、2012～2015年の早稲田大学応用脳科学研究所の調査によると、日本人口の3.0～4.6%（約300～460万人）の人が電磁波過敏症による症状を自覚しているそうです。またヨーロッパ諸国では、社会的に認められつつあり、スウェーデンやデンマークでは公的保険対象として治療が進められています。

## 2020年春から5Gが導入開始！私たちの生活はどう変わる？

5Gはこれまで使われている電波と異なる高い周波帯の電波を使います。理論値では、現主流の4Gの100倍近い速度の通信が可能になるとされており、2時間の映画をたった数秒でダウンロードできます。自動運転、避難対策、介護補助等にも期待され大きなメリットがある反面、従来の4Gよりも高い周波数が必要となります。電波の周波数が高くなれば高いほど飛び距離が短いため、より細かく基地局を設置する必要があります。なんと基地局が100m置きという高密度に設置される可能性があります。

## 5Gリスクについて

現在報告されているのは、オランダで基地局から試験的に5Gの電波を飛ばしたところ、200羽以上の鳥が突然死をしたり木から落下する事態発生（東京新聞2019.4.11）や、アメリカで消防署の近くに5Gの基地局が設置されたところ複数の消防士が頭痛や不眠、意識障害を訴えるようになった（東京新聞2019.4.11）などが報告されています。これから先、子どもたちや動植物に影響が出てくると思われます。また電磁波過敏症の悪化や患者の増加も懸念されます。

## 電磁波と向き合う事が大切！

少しでも電磁波の被害を抑えるために対策をすることが必要ですが、今や電気製品がない状態で生活していくことは困難です。現代の技術では、空間に存在するすべての電磁波を完全にカットすることは技術的に不可能です。電気製品から出る電磁波とうまく付き合い、自分の身は自分で守りながら生活していくことが、これから先の時代には非常に大切になってきます。

### 電磁波過敏症の症状

